

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 不破高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和7年2月4日(火) 15:15～16:55
- 3 開催場所 不破高等学校ガイダンス室
- 4 参加者

	会 長	竹内 治彦	岐阜協立大学教授
	副会長	和田 満	垂井町教育委員会教育長
	委 員	渡邊 勝敏	関ヶ原町教育委員会教育長
		林田 力	不破中学校校長
		岡野 道代	地域住民(宮代こども園園長)
		若山 隆史	垂井町議会議長
		太田 佳祐	地域住民(垂井まちラボ)
		鉄井 宣人	NPO法人 泉京・垂井
		乾 豊	本校同窓会副会長
		鬼頭 千紘	本校PTA副会長(欠席)
	学 校 側	早野 宏樹	校長
		北島 康隆	教頭
		北村 直也	事務長
		臼井 澄人	教務部長
		早野 賢謙	生徒支援部長
		伊藤 健一	進路支援部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 生徒からの発表及び質疑応答
- (2) 令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画 成果と課題
- (3) スクール・ミッションの承認について
- (4) スクール・ポリシー(一部修正)について
- (5) 意見交流

- 意見 1 : 「不破ウィーク」には色々な時間の使い方があり、そこにリラックスが入るという事は良いことである。まずは自分を大切にすることが出来たなら、そこから更に自分らしく成長していけたらよい。大人の都合で成長するのではなく自分がこうなりたいと生徒自身から湧き出てくるようなところが一番大切である。
- 意見 2 : 宮代小学校での出前授業や特殊詐欺の寸劇、垂井中学校教員による出前授業や町の催しでの司会進行など、これまでにない地域との関係性を築いてもらい、大変有難い。本校と地域との距離感の縮まりを感じているし、本校生徒の活躍を知っている地域の皆さんが増えているので、この流れを大切にしてほしい。
- 意見 3 : 垂井町パンフレット作成での創意工夫や自ら活動に取り組んだことなど、主役である生徒の主体性を大切にすることが垣間見られ、地元に対する意識や感謝の気持ちなど、成果が出ている。
- 意見 4 : 今年度を振り返ると、不破中学校とも色々な交流をすることができ、ますます関係が近くなっている。本校も不破中学校も、個への対応をいかに実施していくかが今後の課題である。
- 意見 5 : 地元のこども園として、本校と色々な交流ができて大変有難い。生徒の発表や本校からの説明を聞いて、学校全体が温かい空気になっていると感じる。これからも生徒との関わりを持ち、よりよい交流をしていきたい。
- 意見 6 : 教職員が生徒のニーズを把握しながら、戦略を練って様々な取組がされていてよい。コミュニケーション能力の向上など、今後も方向性を持って生徒の指導にあたってほしい。
- 意見 7 : 今年度の探究活動で半年ほど本校に関わったが、本校が変わってきている。また「不破ウィーク」は主体性や時間の使い方を学ぶよい機会になる。この時間を有意義に使い、生徒の挑戦を支える学校になってほしい。
- 意見 8 : 生徒が自分の言葉で意見発表していたのが印象的だった。生徒の登下校の途中に事務所を構えているので「不破ウィーク」で生まれた時間を活用して、今後も何か開催するなど本校と連携していきたい。
- 意見 9 : 先日の吹奏楽部の定期演奏会を拝見したが、先生と生徒の間で信頼関係ができていてよい。互いを尊重しながらうまくコミュニケーションがとれているので、このような関係作りを今後も続けてもらいたい。

6 会議のまとめ

第3回学校運営協議会では、代表生徒からの発表や、本校の一年間の成果と課題について取組内容を報告し、委員から意見等を得た。また、本校のスクールミッションとスクールポリシー（一部修正）についても承認が得られた。